

**小学6年生、中学3年生、
ご卒業おめでとうございます。
ご父母の皆様、
心よりお祝い申し上げます。**

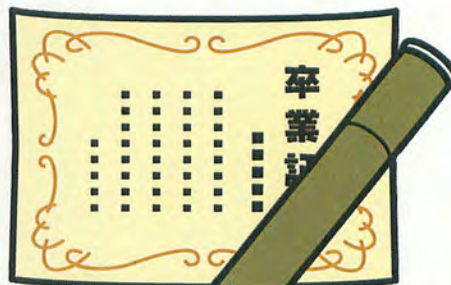
待ち望んでいた春がやってきました。吹く風は冷たくても、日かげに雪が残っていても、あちらこちらに春を感じずにはられません。

「どんなに厳しい冬であろうとも必ず春は来る」「どんなに長い夜も明けない夜はない」よく耳にする言葉です。友達関係で悩んだこと、どんなにがんばっても勝てなかった部活動、必死で暗記したのに試験の成績がふるわなかったこと・・・その時は悔しいと思っていたことも、振り返ってみると、皆さんの糧になったことと思います。歩んできた道で無駄なことは何もない。失敗も過ぎてみれば大切なもの。最近読んだ本に書いてあり、とても心に残ったと同時に、自分が肯定されたようなすがすがしい気持ちになりました。

これから進む未来も明るいときばかりではありません。不満に思うことの方が多いのかも知れません。しかし、全てが自分を成長させるものであること、乗り越えることができるからこそ試練があるのだということをお忘れなくください。そして、皆さんの周りにはたくさんの応援者がいることを！

お父さんやお母さんの喜びは格別だと思います。義務教育の6年間、義務教育終了までの9年間、こんなにも感慨深いのはなぜでしょう。私も我が子が卒業の時、今までの日々が走馬灯の様に流れていき、とても感動したことを覚えています。

最近では、両親共働きが多く、おじいちゃんやおばあちゃんに面倒を見てもらった人もたくさんいます。たくさんの人たちに支えられてここまで来たことをお忘れなくください。そして、これからの未来にもたくさんの人たちの支えがあることを！



<おじいちゃん、おばあちゃんの声>

- ・ あの子が小さかった時、自転車の後ろに乗って保育園の送り迎えをしたなあ。あの頃は、じいちゃんもばあちゃんも若かったよ。
- ・ お父さんもお母さんも働いていたから、お母さんが帰ってくるまで面倒をみたよ。だけど、お母さんが迎えにくると、俺たちのことなんか忘れてお母さんにくっついていくんだな。やっぱり親はいいもんだと思ったよ。
- ・ 塾にも連れてったよ。たまには文句いわれて・・・なつかしいなあ。

くお世話になった方々、本当にありがとうございました。

これからも変わらぬ愛情をおねがいします。>